

理研 スミチオン[®] 乳剤

®: 住友化学(株)登録商標

製品規格：500ml×20本



＜理研スミチオン乳剤の特長＞

- 各種害虫に対し幅広い殺虫スペクトラムと接触・食毒効果を有します。
- 植物に対して浸達性を有し、安定した殺虫効果を発揮します。

適用害虫と使用方法（抜粋）

2022年9月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数（倍）	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
芝	コガネムシ類幼虫	1,000	3L/m ²	発生初期	6回以内	散布
	シバツトガ		0.3~2L/m ²			
	スジキリヨトウ		3L/m ²	幼虫発生期		
	シバオサゾウムシ					
花き類・観葉植物	アオムシ、ハマキムシ類、バッタ類、アザミウマ類	1,000~2,000	100~300L/10a	-		
ばら	アブラムシ類 フラーバラゾウムシ					
カーネーション	アザミウマ類 クロウリハムシ	1,000	200~700L/10a	-		
つつじ類	グンバイムシ類 ハマキムシ類					
さくら	クビアカツヤカミキリ			成虫発生初期		
樹木類	アブラムシ類 グンバイムシ類 フラーバラゾウムシ アメリカシロヒトリ	1,000	-	-		
	オオハリセンチュウ	500			移植前	1回
	オリーブ	オリーブアナアキゾウムシ	50	0.3~3L/樹	収穫 21 日前まで	3回以内
オリーブ(葉)		50	収穫 120 日前まで			
いちよう (種子)	コウモリガ	100		収穫 60 日前まで		

効果・薬害等の注意（上記登録内容に関する抜粋）

- ボルドー液と混用する場合は散布直前に行い、できるだけ早く使用してください。ただし、その他アルカリ性の強い農薬との混用はさけてください。
- 芝のコガネムシ類幼虫に使用する場合は、散布液が土壌中に十分しみ込むようジョロ等で1㎡当り3Lを散布してください。
- あぶらな科作物には薬害を生ずるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意してから散布してください。
- ひのきに対しては個体によって落葉、枯損にいたるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。
- 宿根がすみそうに使用する場合、開花期には薬害を生じることがあるので、この時期の使用はさけてください。
- フラーバラゾウムシに使用する場合は、植物防疫所、病害虫防除所等関係機関の指導のもとに実施してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 使用量に合わせて薬液を調製し、使い切ってください。

保管上の注意

- 小児の手の届く所には置かないでください。直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。また、食品と区別してください。

安全・使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落してください。
- 散布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので散布液がかからないよう注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中に果樹園等では使用をさけること。
 - ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑にはかからないようにしてください。
- 水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 危険物第4類第二石油類に属するので、火気には十分注意してください。

製造販売元  株式会社 理研グリーン
 〒110-8520 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8F
 TEL.03(6802)8571 FAX.03(6802)8577 http://www.rikengreen.co.jp

(株)理研グリーン・パートナーシップ

札幌駐在 (仙台支店にて代行受付) 名古屋支店 TEL.052(218)3060 FAX.052(218)3061
 仙台支店 TEL.022(222)9599 FAX.022(267)6505 大阪支店 TEL.06(6871)1691 FAX.06(6871)1811
 東京支店 TEL.03(6802)8943 FAX.03(6802)8953 福岡駐在 (大阪支店にて代行受付)
 静岡支店 TEL.054(283)0691 FAX.054(291)4261